



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場会社名 サンコール株式会社
 コード番号 5985 URL <http://www.suncall.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山主 千尋
 問合せ先責任者 (役職名) 業務・管理部門長 (氏名) 杉村 和俊
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 075-881-5280

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	25,809	9.0	2,517	52.7	3,141	63.5	2,091	56.6
25年3月期第3四半期	23,670	5.0	1,648	34.0	1,921	61.2	1,335	129.1

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2,895百万円 (137.6%) 25年3月期第3四半期 1,218百万円 (538.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	65.94	65.31
25年3月期第3四半期	42.12	41.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	38,464	29,910	77.5	939.90
25年3月期	35,499	27,458	77.1	863.53

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 29,801百万円 25年3月期 27,385百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
26年3月期	—	7.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	11.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は平成25年度に創立70周年を迎えるため、平成26年3月期末の株主様に対して、1株当たり3円の記念配当を実施する予定です。このため、平成26年3月期の期末配当金は、普通配当8円、記念配当3円の合計11円と予想しております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,300	9.4	3,100	45.0	3,600	31.3	2,400	28.5	75.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	34,057,923 株	25年3月期	34,057,923 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	2,350,959 株	25年3月期	2,344,655 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	31,710,919 株	25年3月期3Q	31,698,463 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 海外売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

《全般的概要》

[経営及び事業環境]

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和策により円安が進行し、輸出産業や製造業を中心に業績の改善が見られました。雇用環境や個人消費においてもそれらを背景として緩やかに回復し、全体として改善傾向となりました。

一方、世界経済では、米国経済は自動車関連を中心とした堅調な民間需要に牽引され緩やかな回復となりました。欧州経済は持ち直しと見られるも依然として緊縮財政が継続され、経済不安に対する懸念は払拭できておりません。中国経済は、一時期の高成長には及ばないながら安定した成長で推移しました。アジア新興国経済は、中国向け輸出が減少し、タイでは政府の経済政策の反動等により景気は鈍化するなど、全体として弱含みの経済成長となりました。

このような環境の下、当社グループでは生産拠点の現地化により経営の効率化を図り、また原価低減活動も積極的に実施いたしました。

[連結業績]

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は258億9百万円（前年同期比9.0%増）、営業利益は25億17百万円（同52.7%増）、経常利益は31億41百万円（同63.5%増）、四半期純利益は20億91百万円（同56.6%増）となりました。

《セグメントの業績》

[日本]

自動車関連製品では、安全装置用部品やエコカー関連部品を中心に売上を伸ばし概ね順調に推移し、材料製品も輸出採算が改善しました。HDD用サスペンションの販売はパソコン需要の低迷が続く中、円安進行の効果により売上高は増加しました。プリンター関連製品及び光関連を始めとするデジトロ精密部品は、製造及び販売の海外子会社移管により売上は減少しましたが、IT製品の検査用部品の売上は伸張しました。その結果、売上高は197億20百万円（前年同期比3.3%増）となり、セグメント利益は22億66百万円（同31.9%増）となりました。

[米国]

米国子会社の自動車関連製品はエンジン用部品が売上を伸ばし、光通信部品も好調だったため前年同期を上回りました。結果として、売上高は25億43百万円（同27.7%増）、セグメント利益は1億2百万円（同66.7%増）となりました。

[アジア]

ベトナム子会社のプリンター関連製品の販売は好調に推移しました。タイ子会社では、自動車関連部品の売上が伸び、プリンター関連製品売上の減少をカバーできました。中国子会社の自動車関連製品は、9月以降日本車需要も持ち直しの動きがみられ売上は前年同水準となりました。また、香港子会社は光通信部品の売上が好調に推移し、プリンター関連製品も堅調でした。結果として、円安効果もあり、売上高は57億21百万円（同25.0%増）、セグメント利益は5億20百万円（同117.9%増）となりました。

《製品区分別の売上業績》

製品区分の名称	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減	
	自平成24年4月1日 至平成24年12月31日		自平成25年4月1日 至平成25年12月31日			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前期比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
精密機能材料	2,999	12.7	2,995	11.6	△3	△0.1
精密機能部品	13,617	57.5	14,849	57.5	1,232	9.0
サスペンション	3,003	12.7	3,381	13.1	378	12.6
プリンター関連	2,453	10.4	2,854	11.1	401	16.3
デジトロ精密部品	1,467	6.2	1,629	6.3	162	11.0
その他製品	130	0.5	99	0.4	△30	△23.5
合計	23,670	100.0	25,809	100.0	2,139	9.0

[精密機能材料]

異形材料はミッション関連製品が低調でしたが、弁ばね材料は円安効果もあり売上高は増加しました。結果として、精密機能材料の売上高は前年同水準の29億95百万円となりました。

[精密機能部品]

米国子会社は前年同様に堅調な販売を維持しました。中国子会社は9月以降日本車需要も回復し前年同水準となりました。タイ子会社では第1四半期間に新車購入政策効果があり、主にエンジン関連部品で売上が増加しました。日本国内は安全装置用部品やエコカー関連部品を中心に概ね売上を伸ばしました。全体としては円安進行の効果もあり、売上高は148億49百万円（前年同期比9.0%増）となりました。

[サスペンション]

HDD用サスペンションは依然としてパソコン需要低迷の影響を受けていますが、主に輸出取引であるため円安効果があり売上高は33億81百万円（同12.6%増）となりました。

[プリンター関連]

タイ子会社ではIT関連業界の不調の影響を受けて売上は減少しましたが、香港子会社では堅調に推移し、ベトナム子会社はチューブローラーが好調でした。結果として、売上高は円安効果もあり28億54百万円（同16.3%増）となりました。

[デジトロ精密部品]

米国及び香港子会社での光通信部品の販売は好調だったため、売上高は16億29百万円（同11.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債・純資産の状況

[資産]

総資産は、384億64百万円（前連結会計年度末比29億64百万円増）となりました。これは、主に現金及び預金が4億64百万円、受取手形及び売掛金が7億84百万円、有形固定資産「その他」に含まれる建設仮勘定が3億42百万円、株価の上昇等により投資有価証券が10億24百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

[負債]

負債は、85億54百万円（前連結会計年度末比5億13百万円増）となりました。これは、支払手形及び買掛金が3億37百万円、流動負債「その他」に含まれる未払金が2億29百万円及び固定負債「その他」に含まれる繰延税金負債が2億95百万円増加した一方、借入金返済により2億78百万円減少したこと等によるものであります。

[純資産]

純資産は、299億10百万円（前連結会計年度末比24億51百万円増）となりました。これは、利益剰余金が配当により4億75百万円減少したものの、四半期純利益により20億91百万円増加したことその他、株価の上昇に伴うその他有価証券評価差額金4億99百万円の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年11月5日に公表いたしました業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,682	9,147
受取手形及び売掛金	6,873	7,657
商品及び製品	1,194	1,129
仕掛品	1,342	1,348
原材料及び貯蔵品	1,334	1,454
その他	427	459
流動資産合計	19,855	21,197
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,808	3,867
機械装置及び運搬具（純額）	4,434	4,451
その他（純額）	2,518	2,983
有形固定資産合計	10,761	11,303
無形固定資産	182	200
投資その他の資産		
投資有価証券	4,245	5,269
その他	455	493
投資その他の資産合計	4,701	5,763
固定資産合計	15,644	17,267
資産合計	35,499	38,464
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,780	4,118
短期借入金	278	—
未払法人税等	498	490
役員賞与引当金	—	15
賞与引当金	349	199
その他	2,129	2,425
流動負債合計	7,036	7,249
固定負債		
退職給付引当金	544	531
その他	460	772
固定負債合計	1,004	1,304
負債合計	8,040	8,554

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,808	4,808
資本剰余金	2,744	2,744
利益剰余金	19,575	21,190
自己株式	△896	△899
株主資本合計	26,231	27,843
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,742	2,242
繰延ヘッジ損益	0	△4
為替換算調整勘定	△589	△280
その他の包括利益累計額合計	1,153	1,957
新株予約権	73	108
純資産合計	27,458	29,910
負債純資産合計	35,499	38,464

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	23,670	25,809
売上原価	19,097	20,267
売上総利益	4,573	5,542
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	505	502
報酬及び給料手当	817	873
役員賞与引当金繰入額	18	16
賞与引当金繰入額	44	47
退職給付費用	79	66
その他	1,459	1,517
販売費及び一般管理費合計	2,924	3,024
営業利益	1,648	2,517
営業外収益		
受取配当金	85	89
物品売却益	53	65
為替差益	105	451
その他	42	31
営業外収益合計	287	637
営業外費用		
支払利息	11	10
その他	3	3
営業外費用合計	14	13
経常利益	1,921	3,141
特別利益		
新株予約権戻入益	39	—
その他	2	1
特別利益合計	41	1
特別損失		
固定資産廃棄損	37	19
その他	0	2
特別損失合計	38	21
税金等調整前四半期純利益	1,924	3,121
法人税、住民税及び事業税	465	940
法人税等調整額	123	89
法人税等合計	589	1,030
少数株主損益調整前四半期純利益	1,335	2,091
四半期純利益	1,335	2,091

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,335	2,091
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	499
繰延ヘッジ損益	△3	△4
為替換算調整勘定	△122	309
その他の包括利益合計	△116	804
四半期包括利益	1,218	2,895
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,218	2,895
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米国	アジア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	17,503	1,989	4,177	23,670	—	23,670
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,592	1	398	1,992	△1,992	—
計	19,095	1,991	4,575	25,663	△1,992	23,670
セグメント利益	1,718	61	238	2,019	△370	1,648

(注) 1 セグメント利益の調整額△370百万円には、セグメント間取引消去△11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△358百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の業務管理部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米国	アジア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	18,151	2,543	5,115	25,809	—	25,809
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,568	0	605	2,175	△2,175	—
計	19,720	2,543	5,721	27,985	△2,175	25,809
セグメント利益	2,266	102	520	2,889	△371	2,517

(注) 1 セグメント利益の調整額△371百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△375百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の業務管理部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

	北アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	2,721	514	7,513	236	10,985
II 連結売上高(百万円)					23,670
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	11.5	2.2	31.7	1.0	46.4

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

	北アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	3,345	445	8,821	287	12,900
II 連結売上高(百万円)					25,809
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.0	1.7	34.2	1.1	50.0

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北アメリカ……米国、メキシコ

(2) ヨーロッパ……ドイツ、スイス

(3) アジア……中国、韓国、タイ、ベトナム、インドネシア、マレーシア、インド、シンガポール

(4) その他の地域……ブラジル

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。